

## 奈良女子大学大学院生活環境科学系教員（助教）のテニユア審査基準

### スポーツ健康科学領域

奈良女子大学大学院生活環境科学系スポーツ健康科学領域教員（助教）のテニユア審査基準については、奈良国立大学機構テニユアトラック制に関する規程及び奈良女子大学テニユアトラック制に関する審査基準要項に基づき、次のとおり定める。

テニユア審査においては、「教育」、「研究」、「社会連携」及び「管理・運営等」の各項目について総合的に評価し、スポーツ健康科学領域における教育研究を担う専任教員として適格であると認められることを要件とする。

なお、審査にあたっては、自然科学系分野と人文・社会科学系分野における研究成果公表形態及び研究慣行の差異を考慮するものとする。

#### 【必須条件】

##### 1. 教育

学部及び大学院における授業、演習、実習等を担当し、適切に実施していること。また、学生指導、その他教育活動に主体的に参画していること。

##### 2. 研究

テニユア審査の時点で、本学在籍中に公表した研究に関する研究業績を有し、当該分野において継続的かつ自立的な研究活動を行っていることと認められること。

研究業績の目安は、概ね以下のとおりとする。

- ・自然科学系分野：査読付き学術論文を含む研究業績3報以上
- ・人文・社会科学系分野：査読付き学術論文を含む研究業績2報以上

ただし、学術著書等については、当該分野の研究慣行を踏まえ、これに準ずる研究業績として評価することができる。また、研究業績の評価にあたっては、研究への主体的貢献、研究成果の学術的水準等を総合的に考慮するものとする。

##### 3. 社会連携

地域連携事業、学会活動、競技団体活動、公開講座その他スポーツ健康科学領域に関連する社会貢献活動に積極的に参画していること。

#### 4. 管理・運営等

全学、学部、学系、領域等の管理・運営に積極的に参画し、他教員と協力して教育研究体制の維持・運営に貢献していること。

#### 【総合評価】

上記各項目について総合的に評価し、いずれかの項目において特に顕著な業績又は実績を有する場合には、その点を審査において考慮することができる。